I-O DATA

B-MANU200121-03
M-MANU200129-02

② セットアップガイド
SA-PCI/2R

注意 **本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。**
取り付ける前に本製品のシリアル番号（S/N）をメモしてください。（別紙【①はじめにお読みください】の【箱の中には】参照）

1 インストールする
まだ本製品をパソコンに取り付けないでください

注意 「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください。

ドライバーソフトをインストールします。本製品をWindowsで使用できるようにします。

❶ 本製品を取り付けていない状態で、パソコンの電源を入れます。

❷「サポートソフトCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

❸ 下記の画面が表示されます。[ドライバー]ボタンをクリックします。

以下の画面が表示された場合は、[MENU.EXEの実行]をクリックしてください。

❹ [次へ]をクリックします。

❺ [完了]をクリックします。

以上でドライバーソフトのインストールは終了です。

2 パソコンに取り付ける
●本製品をパソコンに取り付けます。

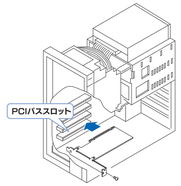
❶ **パソコンの電源を切ります。**

❷ **パソコンに接続されているケーブルを全て取り外します。**

❸ **パソコンのカバーを取り外します。**
パソコンのカバーの取り外し方については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

❹ **パソコンのPCIバススロットのカバーを取り外します。**
PCIバススロットカバーの取り外し方については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

❺ **本製品をPCIバススロットに取り付けます。**
①本製品をPCIバススロットに取り付けます。
②本製品が固定されるように、ネジでとめます。
ネジはパソコンに付属のものをお使いください。



注意
●あとでハードディスクを接続するため、ここでパソコンのカバーを戻す必要はありません。
ハードディスクを接続した方とにお戻しください。
●ハードディスクへのOSの再セットアップなどに関する「お問い合わせ」「保証」「サポート」は、弊社およびパソコン本体メーカーでは お受け致しかねますのでご了承ください。

以上で取り付けは終了です。

3 取り付けを確認する
●Windows上で本製品の取り付けを確認します。

❶ **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。**

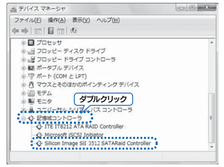
注意 **●「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください**
「コンピュータの管理者」以外のユーザーでログオンしている場合は、以下の手順でアカウントの変更を行ってください。
①[スタート]→[ログオフ]を順にクリックします。
②[ユーザーの切り替え]をクリックして、「コンピュータの管理者」のアカウントをクリックします。

❷ [スタート]-[コンピュータ（マイコンピュータ）]を右クリック※して、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。
※Windows 2000の場合は、[マイコンピュータ]を右クリックします。

❸ 左側のタスクメニューから[デバイスマネージャ]をクリックします。（Windows Server 2008/Vista®の場合）
※Windows Server 2003/XP/2000の場合は、[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

❹ [記憶域コントローラ]をダブルクリックして、以下が表示されていることを確認します。
※Windows Server 2003/XP/2000の場合は、[SCSIとRAIDコントローラ]をダブルクリックします。

[Silicon Image SiI 3512 SATARaid Controller]



上記が表示されていれば本製品は使用できます。

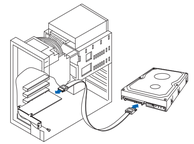
4 ハードディスクを接続する
ここでは、本製品とハードディスクの接続について説明します。

注意 ●本書では、ハードディスクの設定、フォーマット方法その他に関しては説明しておりません。
詳細はハードディスクの取扱説明書を参照してください。

ハードディスクを接続する
本製品には、ハードディスクを接続するためのコネクターが2つあります。プライマリーSerial ATAコネクターから添付のケーブルでハードディスクを接続してください。

❶ Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

❷ プライマリーSerial ATAコネクターに添付のケーブルで、本製品とハードディスクを接続します。
ハードディスクには、パソコン内部の電源ケーブル※も接続します。
※Serial ATAハードディスクの電源は、パソコン内部のSerial ATA用電源ケーブルに接続して使用するものがあります。パソコン内部にSerial ATA用電源ケーブルがない場合は、市販の「Serial ATA電源変換ケーブル」（パソコン内部の通常の4ピンタイプの電源コネクターをSerial ATA用の電源コネクターに変換するもの）を別途ご購入ください。



❸ ハードディスクをパソコンに固定します。
ハードディスク添付のネジをお使いください。

❹ RAIDを構築する場合など、2台のハードディスクをお使いになる場合は、セカンダリーSerial ATAコネクターに同様に接続してください。

❺ 取り外していたパソコンのカバーやケーブルを元に戻します。
以上ですべての作業は終了です。ハードディスクをご利用ください。ただし、ハードディスクがフォーマットされていない場合は、一度フォーマットする必要があります。※詳細はハードディスクの取扱説明書を参照してください。

また、RAIDを構築したい場合は、別冊【③リファレンス編】を参照してください。

困ったときには
本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご確認ください。

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。
こちらも参考になさってください。
製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。
最新サポートソフト
http://www.iodata.jp/lib/

●本製品取り付け後、パソコンが起動しない
●本製品が動作しない
●[デバイスマネージャ]で"!"マークがついている

対処 本製品が正しく取り付けられているかご確認ください。
パソコンの電源を切り、再度本製品に接続したハードディスクのSerial ATAケーブルや電源ケーブルが取り付けられているか、外れていないかを確認してください。

対処 本製品に割り当て可能なIRQなどのリソースが不足していないかご確認ください。（右の[参考]参照）

対処 プラグ&プレイに対応していないボードがある場合には、そのボードのリソース割り当てを変更してください。（リソースの変更方法に関しては、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。）リソース割り当ての変更ができない場合には、そのボードを取り外し、本製品と必要に応じて使い分けてください。

対処 他の周辺機器を拡張スロットに増設した場合は、増設した周辺機器と割り込みやI/Oポートアドレスなどが重複している可能性があります。増設した周辺機器の取扱説明書を参照して、設定を確認してください。

●本製品を使用中に動作が不安定になる

対処 本製品を接続しているPCIバススロットの位置を変えてみてください。

●ドライバのインストールに失敗し、再インストールしようとしたが「新しいハードウェアの検出ウィザード」等の画面が表示されない

対処 [デバイスマネージャ]の「SCSIとRAIDコントローラ」下で「SCSIコントローラ」と表示されている場合はこれを削除して再起動します。

参考：割り込みの空きを作る
本製品が正常に動作しない場合は、割り込みIRQの空き（以下の【割り込み(IRQ)の空きについて】参照）が無いことが原因の1つとして考えられます。

注意 **●割り込み(IRQ)の空きについて**
本製品はパソコン本体の割り込み（IRQ）を使用します。ただし、本製品はプラグアンドプレイ対応ボードで、パソコン本体側ですべて自動的にリソース（IRQ等）が割り振られるため、本製品側でIRQの指定ができません。よってIRQの空きの確認（パソコン本体側のリソース（IRQ等）の割り振りが正常かなど確認）が必要となります。

割り込み(IRQ)の空きの確認方法
※画面はWindows XPのものですが、特に指示のない限りWindows 2000でも手順は同じです。

❶ Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。
❷ 本製品をPCIバススロットから取り外します。
❸ パソコンの電源を入れ、Windowsを起動後、[デバイスマネージャ]画面を開きます。
（[デバイスマネージャ]画面の開き方については、表面【3 確認する】参照）
❹ [表示]メニューから[リソース（種類別）]をクリックします。
❺ [割り込み要求（IRQ）]をダブルクリックして、割り込み（IRQ）の使用状況を確認します。

❻ 空きがない場合は、他の機能を外すなどをして空きを作ってください。
詳細はパソコンメーカーにご確認ください。
❼ 再起動して本製品、IDE機器を接続している場合はIDE機器が正常に動作するかご確認ください。

パソコン本体（マザーボード）のBIOSセットアップメニューで設定できる場合もあります。詳細は各パソコンメーカーにご確認ください。
また、実装しているボードの取扱説明書も参照してください。

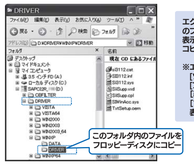
OSインストールの準備をする

本製品に接続したハードディスクにOSのインストールおよび本製品ドライバのインストールを行う方法を説明します。

注意
- ●以下の方法で作業する場合は、OSの再インストールが必要になりますが、ご使用のパソコン本体によりOSの再インストール方法が異なります。eSATA接続ハードディスクへのOSの再インストールなどに関する「お問い合わせ」「保証」「サポート」は、弊社およびパソコン本体メーカーには致しかねますことご了承ください。
- ●増設用のeSATA接続機器を起動用としてご使用になる場合は、環境の移行が完全に終了するまで、必ず元の環境を残してください。
- ●OSをインストールする場合は、パソコンにフロッピーディスクドライブおよび、パソコン本体のIDEにCD/DVD-ROMドライブ（OSのCD/DVD-ROM読み取り用）が接続されている必要があります。
- ●起動用として設定後、インストールしたサポートソフトを削除すると、本製品が使用できなくなり、さらに、接続しているハードディスクもすべて使用できなくなります。（OSも起動できなくなります。）
  サポートソフト削除前に、必ず必要なデータはバックアップしてください。
- ●SCSIボードと併用する場合は、OSのインストールおよび本製品のセットアップが完了するまで、SCSIボードを取り外しておいてください。
- ●起動用として、ストライピング（RAID）を構築する場合は、ストライピングを構築してからOSをインストールしてください。
  OSインストール後に、ストライピングを構築することはできません。
  （ミラーリングの場合、OSインストール後にミラーリングを構築することもできます。別冊【③リファレンス編】の「すでにお使いのHDDともう1台をミラーリング設定する」参照）
- ●起動用としていたストライピング（RAID）設定を解除すると、OSが起動できなくなります。
  RAID設定を解除する前に、必ず必要なデータはバックアップしてください。
  （ミラーリングの場合、RAID設定解除後、そのまま起動用ドライブとして使用することができます。）
- ●起動用RAID構築後、インストールしたサポートソフトを削除すると、本製品が使用できなくなり、さらに、RAID設定しているハードディスクもすべて使用できなくなります。（OSも起動できなくなります。）
  サポートソフト削除前に、必ず必要なデータはバックアップしてください。

■インストール時に必要なもの

- ●WindowsシステムCD/DVD-ROM
- ●フロッピーディスク（1枚：1.44MB）
  （Windows Vista®/Server 2008の場合は不要）
  「サポートソフト」CD-ROMの［DRIVER］－［インストールするOS］のフォルダー［DRIVER］フォルダ内のすべてのファイルをコピーしたもの



エクスプローラで［すべてのファイルとフォルダを表示する］を設定してからコピーしてください。

※エクスプローラの［ツール］メニュー→［フォルダオプション］→［表示］メニュー内の［ファイルとフォルダの表示］で設定できます。

eSATA接続ハードディスクにOS（ Windows Vista®/Server 2008）をインストールする

❶ 本製品にeSATA接続ハードディスクを接続後、パソコンを起動します。

❷ WindowsシステムDVD-ROMをDVD-ROMドライブに入れ、Windows Vista®のインストールを開始します。
※方法については、Windowsの取扱説明書を参照してください。

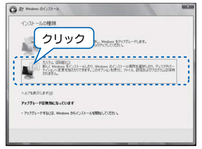
❸ 以下の画面が表示されましたら、［次へ］をクリックします。

❹［今すぐインストール］をクリックします。

❺ プロダクトキーを入力します。

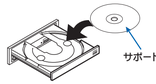
❻［条項に同意します］にチェックして、［次へ］をクリックします。

❼［カスタム（詳細）］をクリックします。

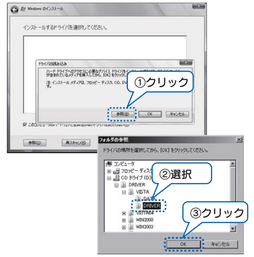


❽［ドライバの読み込み］をクリックします。

❾ サポートソフトCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。

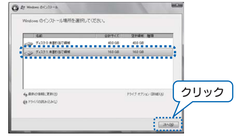


❿［参照］をクリックし、［DRIVER］フォルダを選択して［OK］をクリックします。

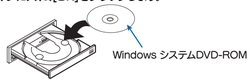


⓫［Silicon Image SiI 3512 SATARaid Controller］を選択して［次へ］をクリックします。

⓬ 本製品に接続したeSATAハードディスクが表示されるので、インストールするディスクを選択して、［次へ］をクリックします。



⓭ WindowsシステムDVD-ROMをDVD-ROMドライブに入れ、［OK］をクリックします。



⓮ 以降は画面の指示にしたがってインストールをすすめてください。

eSATA接続ハードディスクにOS（ Windows XP/Server 2003/2000 ）をインストールする

❶ 本製品にeSATA接続ハードディスクを接続後、パソコンを起動します。

❷ WindowsシステムCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、Windows XP/Server 2003/2000のインストールを開始します。
※方法については、Windowsの取扱説明書を参照してください。

❸ 以下の画面が表示されましたら、［F6］キーを押します。

下記の画面は数秒間だけ表示されますので、この画面が表示されている間に［F6］キーを押します。［F6］キーを押しても、特に画面上の変化はありませんが、しばらくすると、手順❹の画面になります。

❹ しばらくするとすると、下記の画面が表示されます。本製品のドライバソフトを読込ませるために、［S］キーを押します。（S=Specify Additional Device）

❺ 下記の画面が表示されますので、サポートソフトをコピーしたフロッピーディスクをセット後、［Enter］キーを押します。

❻ 以下の画面が表示されます。以下を選択して［Enter］キーを押します。

●Windows XP/Server 2003の場合
Silicon Image SiI 3x12 SATARaid Controller for Windows XP/Server 2003

●Windows 2000の場合
Silicon Image SiI 3x12 SATARaid Controller for Windows NT 4.0 and 2000

❼ 選択されたドライバの名称が表示されますので、間違いがないことを確認し、［Enter］キーを押します。

後は画面の指示に従って進めてください。

以上でインストールは終了です。
セットしたフロッピーディスクを取り出します。
OSが正常に起動できることをご確認ください。

注意
- ●起動させるには、本製品の［アートON/OFFスイッチ］のON設定、および、eSATA接続ハードディスクへのOSインストール以外に、パソコン側のBIOS設定で起動優先設定の変更が必要な場合があります。
  詳細については、パソコンメーカーにご確認ください。

サポートソフトの削除

「サポートソフト」の削除方法について説明します。

●Windows Vista®/Server 2008の場合

❶［スタート］-［コントロールパネル］-［プログラムのアンインストール］※をクリックします。
※クラシック表示の場合は、［プログラムの機能］アイコンをダブルクリックします。

❷「Windows ドライバパッケージ - Silicon Image(SI3112r)SCSIAdapter ・・・」を選択して、［アンインストール］をクリックします。

●Windows Server 2003/XP/2000の場合

❶［スタート］-［コントロールパネル］-［プログラムの追加と削除］をクリックします。

❷「Windows ドライバパッケージ - Silicon Image(SI3112r)SCSIAdapter ・・・」を選択して、削除します。

2台のハードディスクでRAIDを構築したい場合

RAIDの設定はユーティリティ（RAID Configuration Utility）で行います。
詳細は、別冊【③リファレンス編】を参照してください。

Copyright (C) 2005-2008 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.